

2人に1人は、がんにかかる時代 がん検診、受けていますか？

昨年度は、全国的にがん検診を受ける人が減りました。コロナ禍でがん検診を控えたからだと言われています。大和郡山市でも受診者数が減りました。

	令和元年度	昨年度
胃がん(エックス線+内視鏡)	1,384	958
肺がん	1,004	568
大腸がん	5,111	4,942
乳がん	1,209	939
子宮がん	1,327	1,230

昨年度の精密検査の結果

胃がん検診で食道がんが1人、大腸がんは22人、乳がんは9人見つかりました。

がんは高齢の人がかかると考えていませんか？

若い人もがんにかかります。乳がんが見つかった9人のうち、4人は40歳代と若い人でした。がんは不治の病ではありません。

早く発見し治療すれば体への負担も治療費も少なく済みます。

がんでなく、
前がん病変の大腸ポリープや
子宮がんでは、異形成細胞が発見され
内視鏡や狭い範囲の簡単な手術で
治療することができました。



たくさん受けていれば
「がん」はもっと
見つかったかも知れません

定期的にごがん検診をうけましょう！

コロナ禍でもがん検診を受けることは不要不急の外出になりません。

定期的ながん検診こそが、早期発見につながります。

※11ページおとなの健康の各種がん検診をご覧ください。

※コロナウイルス感染症対策のため、医療機関により検診の受け入れを縮小しているところがあるかもしれません。事前に医療機関にご確認ください。

問合せ＝さんて郡山(☎58-3333)

宝くじの助成金で自治会の備品を整備しました

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用し、小林町自治会で「太鼓」、泉原町自治会で「音響機器」の備品を整備しました。自治会のお祭りやイベントで使用し、今後のコミュニティ活動の活性化が期待されます。

問合せ＝総務課 自治振興係(内線255)



小林町自治会
「太鼓」



泉原町自治会
「音響機器」

新型コロナウイルス感染症に関する不当な差別や偏見をなくしましょう

新型コロナウイルス感染症に関する、不当な差別、偏見、いじめ等は決して許されるものではありません。だれもが感染者、濃厚接触者になりうる状況であることを受け止め、お互いに相手を思いやる気持ちを持っていただきますようお願いいたします。